

～自分たちの地域は自分たちで守る～

◎問い合わせ

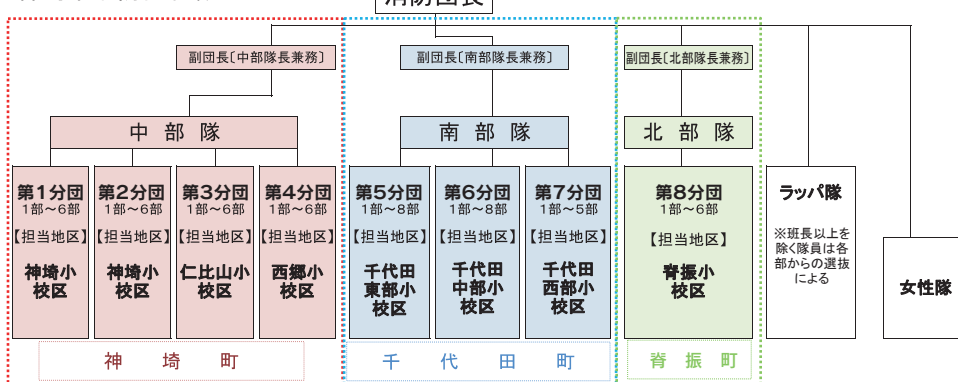
防災危機管理課 消防交通係 ☎37-0104

【特集】地域防災の要

神崎市消防団

消防団は地域内で発生する火災や台風、大雨などの自然災害から住民の生命・財産を守るために活動をしています。わたしたちの暮らしを守る神崎市消防団について紹介します。

神崎市消防団組織図



※ 上の図における【担当地区】はイメージであり主な箇所を挙げています。
※ 災害等の規模に応じて分団や隊、団の中で協力して活動しています。

神 崎市消防団は3隊8分団とラッパ隊、女性隊で構成され、男性938人、女性25人の963人で構成されています。(令和4年4月1日現在)

近年は新規入団者が少なく、条例定数である1,020人を下回る状況が続いています。それでも神崎市消防団は地域防災の要として日々、地域の安全を守るために尽力しています。

～団員の声～

～ 活躍する女性団員 ～
～ 「いつもありがとう」をやりがいに ～

職場の先輩からの紹介と、消防士である父の姿を、幼い頃から見ていたこともあり、平成31年度に入団しました。女性隊は25人で訓練や火災予防啓発など積極的に活動しています。毎年、市内の一人暮らしの高齢者を訪問し、防火・防災の啓発を行っていましたが、コロナ禍となりここ数年はチラシと粗品の郵送という形で活動しています。直接、お顔を見ることができないのは寂しいですが、皆さんに喜んでいただくことがやりがいでありますので今後も続けていきたいと思っています。

私たちは「無理のない範囲で参加できるときに」をモットーに楽しく活動しています。さまざまな年代や立場の人と交流ができます。一緒に地域の安全・安心を守るために活動してみませんか？



神崎市消防団 女性隊
小柳 憂美 さん



神崎市消防団 第4分団第5部
部長 福地 将樹 さん

先輩団員の勧誘を受けて平成20年度に入団しました。私たちの部は少人数ですが、まとまりある活動を行うことができていると思います。

私自身、初めての消火活動の際は右も左も分かりませんでした。しかし、先輩団員にご指導いただき無事に消火できたときは、地域の役に立つ実感を得られました。地元の人からも「いつもありがとう」「助かつとるよー」と声掛けしてもらったこともあり、それがやりがいとなっていました。家族は消防団活動への理解を示してくれ、活動に向かう私をいつも送り出してくれています。

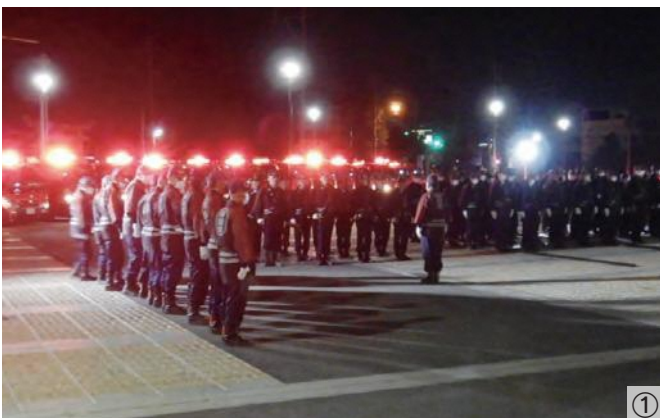
消防団に入団することで地元とのつながりができることはもちろん、転入して市内にいられた場合も、より早く、地元の一員になることができます。ぜひ一緒に頑張りましょう！

～消防団の 活動現場から～

火災や水害が発生すれば、昼夜を問わず現場に向かい活動する神崎市消防団。その消防団が活躍する現場の一部を写真とともに紹介します。



消防団出初式でラッパの音を響かせる団員



①



②

① 消防団年末警戒
毎年、12月28日、29日の夜間に消防団は地域の人々への火災予防啓発のため、各部の詰所に待機しています。

② 災害対応
令和3年8月豪雨では県内各地で大きな被害を受けましたが、その復旧に消防団が活躍しました。写真は水路にたまった土砂を掻き出す様子です。

③ ボート訓練
城原川でのボート訓練の様子です。今後も有事に備えて訓練を随時行っていく予定です。



③

消防団の待遇など

- ・本市に居住または勤務している人
- ・18歳以上で健康な人

団員募集！

- ▶報酬 階級に応じ年額で定めています。
- ▶補償 活動中のけがなどに対するの補償や、日常生活での傷病による入院に対して見舞金などがあります。
- ▶制服 活動服などの物品を貸与します。

近年、全国各地で豪雨災害や、地震の発生が増加している状況です。

消防団が果たすべき役割と我々に寄せられる期待は年を追うごとに大きくなっていると感じています。

今後とも気を引き締め、火災はもとより地震や風水害等による災害発生時への即時対応や、地域に密着したきめ細やかな予防活動などに取り組んでいきたいと考えています。



神崎市消防団
えがしら ふみのり
江頭 文則 団長
昭和53年入団。
令和2年4月から団長を務める。

生演奏を堪能 ふれあいコンサート in 神埼

1月22日



航空自衛隊西部航空音楽隊と神埼高校吹奏楽部が出演する「ふれあいコンサート in 神埼2023」が中央公民館で3年ぶりに開催され、来場者は生演奏を楽しみました。

コンサートは音楽隊のアンサンブルから始まり、神埼高校によるヒット曲の演奏、合同演奏が行われ、最後はアンコールで盛り上がりしました。新型コロナウイルス感染症対策のため、座席を制限しての開催でしたが、来場者は奏でられる華麗なメロディに心温まるひと時を過ごしました。

地区の歩み 住民で編集 「川寄史」を寄贈

12月13日



神埼町川寄地区から「川寄史」を寄贈いただきました。地区住民で資料収集や編集を担当し、約3年をかけて完成。

佐藤武夫区長は「長年区長をしてきて地区の歴史が分かる資料が残っていないことに気づいた。郷土史をつくるのは今しかないと思った」と話し、市長は「地区でこれだけのものを作るのはすごい」と称賛しました。

寄贈いただいた川寄史は、市立図書館本館で無料配布しています。冊数に限りがありますので、ご希望の人はお早めにお問い合わせください。

（問）神埼市立図書館 ☎53-2304

3年ぶりの開催！ 吉野ヶ里ロードレース

1月22日



第29回吉野ヶ里ロードレース in 神埼市が吉野ヶ里歴史公園内で3年ぶりに開催され、683人の参加者が古代ロマンあふれる弥生路を駆け抜け、健脚を競いました。

大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食ブースを中止し、全種目で公園内を周回するコースに変更するなど、規模を縮小して開催しました。

仲良くジョギングを楽しむ親子や日頃の練習の成果を発揮しようと意気込むランナーが寒風に負けない力強い走りを目指し、大会を盛り上げていました。

民生委員・児童委員 永年勤続で全国表彰

12月26日



大久保利之さん（神埼町出来町）と深堀時子さん（千代田町崎村）が、全国民生委員児童委員連合会から永年勤続表彰を受賞され、市役所で伝達式が行われました。

永年にわたり民生委員・児童委員として地域に寄り添い、地域の福祉向上のために努力されたことがこのたびの表彰となりました。

お二人は、子どもから高齢者まで住民の立場に立って相談に応じ、必要な支援を行いながら、福祉の増進について精力的に活動されました。



高取山公園(神埼市地域おこし協力隊)
https://www.instagram.com/takatoriyama_park



インスタグラム アカウント名:くねんニャン【公式】
<https://www.instagram.com/kunennyan0501/>



市消防団南部隊 命をつなぐ献血に協力

2月12日



神埼市消防団南部隊が、千代田交流センターで毎年恒例の献血活動を行いました。

南部隊は、前身の千代田町消防団の頃から団員献血に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症対策で参加人数を制限した中、40人が献血に協力しました。今回の献血が人命を救う一助となることを願います。

脊振町の本間さん夫妻 佐賀農業賞最優秀賞を受賞

1月30日



本間綾さん、昭久さん(脊振町広滝東)が、地域農業の振興に貢献している人をたたえる「佐賀農業賞 地域農業活性化の部 女性の活躍部門」で最優秀賞を受賞し、市長を表敬訪問しました。

同夫妻は平成17年に脊振町に移住され、本間農園を設立。自然卵養鶏を行い「ほんまの卵」のブランド化に取り組みられ、生産から販売までを二人で役割分担し、その中で女性が働きやすい環境づくりを進められています。今回の受賞に綾さんは「期待値も含めての受賞であることを肝に銘じて頑張っていきたい」と話しました。

無病息災や幸運祈り 年男や年女ら豆まき

2月4日

櫛田宮で「神幸節分祭」が開かれ、年男や年女など25人が、境内の能舞台から福豆をまき、無病息災や幸運を祈りました。

中心市街地のにぎわい創出を目指す「CSO かんざき」が主催。「櫛田の市」に合わせて開かれ、今年で11回目。日本舞踊の祝舞のあと、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた豆まきが3年ぶりに行われ、福を求める多くの市民でにぎわいました。

参道に設置された高さ約5mの大型お多福面が節分祭を盛り上げたほか、門前広場で開かれた「櫛田の市」には、飲食店など約80店舗が並び、プロレスの試合も行われ子どもがリングに上がって遊びました。

年女として豆を投げた仁比山小5年の女の子は「豆まきは楽しかった。幸せが届くように投げました」と話していました。

